Nothofagoxylon pichasquense Torres et Rallo (1981) は道管・放射組織間膜孔の記載を欠き，かつ写真も不鮮明で，その正体は不明であるが，アルゼンチン産の *N. menendezii* Ragonese (1977) かチリ，キリキナ島産の *N. pseudoobliquum* Nishida (1984) かの何れかであるが，写真より判断して，前者と思われる。*Nothofagoxylon antarcticum* Torres (1984) は道管の直径が大きく，したがって分布密度が小さい点を除けば *N. scalariforme* Gothsn (1908) に一致する。チロエ島から報告された *Salicinoxylon serrae* Torres et Godoy (1981) はすでに南極及びチリ・パタゴニアから知られている *Laurinoxylon uniseriatum* Gothan (1908) にほかならない。*Cupressinoxylon chilensis* Torres (1981) の原記載はチリ植物学会の講演要旨にたった4行，年輪幅が記載してあるだけで，組織学的記載は全くない。また図を欠いている。これは古植物命名規約38条に違背する。*C. chilensis* は無効名である。*Myrtoxylon pichasquensis* Torres et Rallo (1981) と *Elaeocarpoxylon pichasquensis* Torres et Rallo (1981) は共に記載が不充分で，その正体は明かでないが，写真から判断して放射組織に単列の翼を欠くという重要な特徴により，それぞれ *Myrtoxylon* と *Elaeocarpoxylon* に属さぬばかりでなく，Myrtaceae, Elaeocarpaceae にも属さない。

□**長野県植物研究会誌第20号(創立20周年記念号)** 165 pp. 1987. 長野県植物研究会(松本市旭3-1-1 信州大学教養部生物学教室内). ¥3,500(送料¥90). 長野県植物研究会は創立20周年をむかえた。長野県は広大なうえに，もともと各地の研究活動が活発なところであるが，それ故に一つにまとまって会を運営するには，役員のなみなみならぬ努力と，会員の協力が必要だったろう。その成果として，同会は一地方同好会の域をこえて，全国的な賛同を得るに至っている。このことはこの記念号を見ても察せられる。会員の寄稿20篇のほか，特別寄稿15篇は日本の植物学界の現況を概観するに足る広汎な領域をカバーしている。このほかに短報14篇とこれまでの全号の著者名索引，短報索引がある。

(金井弘夫)

□韓国植物研究所(編)：**李永魯文集** 211pp. 1986. 同研究所，Seoul. 非売品. 梨花女子大学教授李永魯氏の停年を記念して，同氏の学術論文以外の小文を集成した紙上植物記と，世界各地への旅行メモ世界植物探訪記より成る。巻末に履歴と論文目録があり，韓国の植物分類学の傾向の一端を知るに足るものである。全文韓語。 (金井弘夫)

□李永魯 (Lee, Yong Noo)：**韓国産松柏類** 241 pp. 1986. 梨花女子大学出版部, Seoul. 5,000 Won. 内容は概説，分布，形態，染色体，各論（種の検索表を含む)，生態，害虫，古典・天然記念物，雑録より成る。各論は種の検索表を含む。文献表および索引がついている。全文韓語。 (金井弘夫)